



2019年8月19日

日本鉄道労働組合連合会

連合 2019 平和行動 in 広島・長崎 戦争の実相を語り継ぎ恒久平和を実現していく！

8月5日から6日にかけて、「連合 2019 平和行動 in 広島」、同8日から9日にかけて「連合 2019 平和行動 in 長崎」が実施され、全国の連合に集う仲間とともに、JR連合および加盟各単組から参加した。

5日は、連合主催の「被爆 74 年連合 2019 平和ヒロシマ集会」およびピースウォークが開催され、JR連合から中山耕介組織部長をはじめ、JR北労組・JR四国労組・JR西労組の総勢 51 人が参加した。集会やピースウォークでは、戦争の歴史や惨状、被爆者の証言とともに、若い世代の代表として登壇した高校生平和大使のメッセージに耳を傾け、恒久平和にむけた想いを馳せた。翌6日には、「広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式典」にも参加し、原爆が投下された8時15分には平和の鐘が鳴らされ、参加者全員で世界平和の祈りを込めて黙祷した。



8日、連合は「被爆 74 年連合 2019 平和ナガサキ集会」を開催し、JR連合から中村鉄平交通政策部長とともに、JREユニオン・JR東海ユニオン・JR九州労組の組合員ら 35 名が参加した。冒頭主催者を代表して神津里季生連合会長が挨拶に立ち、恒久平和を求めつつも、核兵器を巡る世界情勢などに触れ、「平和から遠ざかっていると感じる」と憂えた。来賓挨拶の後、ナガサキ・ユース代表団や高校生平和大使からのメッセージ発表などが行われ、平和メッセージが採択された。さらに集会後は「2020年核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に向けたシンポジウム」が行われた。翌9日は「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列し、午後からは連合主催のピースウォークに参加し、平和の尊さをあらためて確かめ合った。

